



高島藤樹会

(題字は、竹脇雲卿先生によるものです)

発行
NPO法人 高島藤樹会

〒520-1224
滋賀県高島市安曇川町上小川225-1
藤樹書院・良知館内
電話・FAX 0740 (32) 4156
<http://takashima-tojukai.com/>

藤樹先生の教えを

実践する

「地域・家庭・学校で」

高島藤樹会 理事 地村 俊彦



一、藤樹先生の
教えから

中江藤樹先生

は、「人はだれでも「良知」という美しい心をもつて生まれており、この美しい心は、だれとでも仲よく親しみ合い、尊敬し合い認め合う心である」と説かれている。また、「ふだんの生活やまわりの人との交わりの中で、自ら五事を正すことが、すなわち良知をみがき良知に致る大切な道である。」とも説かれている。

この「美しい心」のベースは、幼児期・少年期に園・学校、家庭、地域の中で育まれるものである。私が勤務した青柳小学校での取組を振り返ると、学校だけでなく、家庭や地域の人たちによる子どもたちへの教えや温かい関わりが、美しい心「良知」を育てることにつながっていたと感じる。子どもたちは、家庭・地域の身近な大人とふれあい、知識・技能だけでなく礼儀や心がけなどを

教えていただくことで、学びがより一層広がり、深まっていく。身近な大人(学校・家庭・地域)と一緒に、子どもたちの学びと成長を支えていく取組は、子どもたちにとっても私たち大人にとっても、藤樹先生の教えを実践するよい機会である。

二、藤樹先生の教えを学び、実践する

(一) 地域の人たちとのふれあいか ら学ぶ

青柳小学校では、日常的に地域ボランティアの方に学習支援等でお世話になっている。子どもたちは、ボランティアの方に優しく声掛けしていただいたり、作業の手ほどきを受けたり、一緒に楽しく活動する中で感謝の気持ちや思いやりの気持ち、「がんばろう」という気持ちが高まる。ゲストティーチャーの授業では、講師の方の熱意や生き様に触れ、改めて自分の将来の目標や「志」を考へることもつながっている。

(二) 自分の長所を生かした目標を立てる

青柳小学校では、PTAが各家庭に呼びかけ、『長所の花をさかせよう』という活動に取り組んでいる。この取組は、家族みんなで子どもの

長所に目を向け、その長所を伸ばすために、「日常生活でがんばること」を親子で考えるというものである。家族ぐるみで子どもたちの長所に目を向け、良さを伸ばし、目標に向けたがんばりを応援するこの取組は、子どもたちの励みになるだけでなく、将来に向けての立志にもつながっている。また、保護者が、肯定的で温かい気持ちで子どもに接すれば、自分に自信を持ち、思いやりの深い子どもが育つことにもなる。藤樹先生の説かれる「愛敬」にも通じる実践である。

(三) 藤樹先生の生き方を学ぶ

高島藤樹会会報三五号でも紹介いただいたが、青柳小学校では、毎年十一月に「藤樹デー」を開催している。この行事には保護者や地域の関係者にも来校いただき、みんなで藤樹先生の教えを学ぶ一日となっている。藤樹先生に造詣が深い地域の方々を多数講師としてお招きし、学年ごとに藤樹先生の生き方や思想、藤樹先生ゆかりの史跡等について講話をしていただくコーナーもある。中江藤樹先生生誕の地ならではの取組である。

